

第3学年道徳指導案

平成17年10月28日（金）1校時

3年2組（男17名 女18名 計35名）

指導者 七戸 由香

1 主題名 あきらめずに最後までがんばる （1-（3）勤勉・努力、忍耐）

2 資料名 すきなことから （出典 学研）

3 主題設定の理由

（1）価値について

第3学年及び第4学年の内容項目1-（3）は「自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。」となっている。自分がやろうと決めたことに対して積極的に取り組み、粘り強くやり遂げる精神を育てようとするものである。これは、第1学年及び第2学年の内容項目「自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。」を受けたものであり、さらに第5学年及び第6学年では「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」に発展していく。

自分で決めた目標を成し遂げたときの喜びは、満足感や成就感となり、これからの活動の意欲につながる。辛抱強さに欠けた子どもたちが増えている現代で、弱い心に打ち勝ちやり抜こうとする心情を育てることは生きる力の基盤ともなる。

この時期の児童は、自分がやらなければならないことはわかっていて、目標を立てて努力しようとする。しかし、それに対して積極的に取り組んだり、粘り強さに欠けたりして努力が続かず途中でくじけやすい。自分の目標達成のために、困難にぶつかってもあきらめずに努力を続けていくことが、よりよい自分の生き方につながることに気づかせることが必要であると考える。

（2）児童の実態

学級の児童は明るく素直で、一日のめあてや学年の目標に向かって自分を近づけようと互いに声をかけ合って生活している。水泳学習では、去年よりも長く泳げるようになると熱心に練習に励んだ。興味のあることに対しては一生懸命に努力しようとする姿が見られる。しかし、自分が何をやらなければならないかは理解していても、苦手なことから逃げようしたり、失敗するとすぐに諦めてしまったりする児童が多い。そこで、このような児童に、自分でやろうと決めたことをたとえ辛くてもがんばってやり遂げたとき、充実感や喜びを感じることができるところをつかませたい。

（3）資料について

本資料は、2000年のシドニーオリンピックで金メダルをとった高橋尚子選手の話である。

スタジアムに1位で走ってきたが、ゴール直前に2位のシモン選手にどんどん追い上げられる。足が重く思うように体が動かないというピンチに、高橋選手は小学校のマラソン大会のことを思い出す。靴が脱げたり、つまずいて転んでしまったりしてみんなに追い越されながらも決して諦めることなく歯を食いしばってトップでゴールした。そしてオリンピック当日、「絶対に自分は大丈夫」と言い聞かせながら、練習をしてきたという自信と何よりも走ることが好きという気持ちでゴールを決めるという内容である。

目標を持ち、それに向かって困難を乗り越えて最後まで一生懸命努力することが、喜びや自信につながるということを感じ取らせることのできる資料である。

（4）授業の構想について

本時は、マラソン大会や練習の体験を生かして授業を進める。「気づく」段階で、大会や練習の様子をビデオで見ながらそのときの思いを想起させる。「深める」段階では、主人公の追いつかれそうになる焦りや、追い越されてしまったときの悔しさに共感させるために、写真や作文を提示して大会や練習への取り組みを想起させる補助発問を取り入れる。さらに、「見つめる」段階では、作文や日記を紹介し、自分たちの体験を振り返らせながら自分の中にもがんばって努力する心があることに気づかせたい。

5 本時の指導

(1) ねらい 好きでやろうと決めたことだから、大変なことがあっても最後までやり遂げることができたという主人公の心情を考えさせることを通して、あきらめずに一生懸命努力しようとする気持ちを育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	指導上の留意点や支援
8分	<p>1 ビデオを見て、マラソン大会の体験を想起する。 ○走っているときどんな気持ちでしたか。</p> <p>2 資料を読み感想を発表し課題をたてる。 ○思ったことや考えたいことを発表しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぜったいにだいじょうぶと自分にいきかせながら走る高橋せん手は、どんなことを考えたでしょう。</p> </div>	<p>・つかれて、大変だった。 ・がんばって最後まで走ろうと思った。</p> <p>・金メダルをとるなんてすごい。 ・苦しくてもよく最後までがんばって走ったと思う。</p>	<p>・マラソン大会を想起させ、自分の目標に向かってがんばったことなどを思い出させ資料への導入を図る。</p> <p>・資料はあらかじめ読ませ、本時は教師の範読を聞き、高橋選手について補足説明をする。 ・児童の感想をもとに課題を立てる。</p>
深める	<p>3 「高橋選手」の気持ちを中心に話し合う。 ○すぐ後ろを走るシモン選手を見てどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>○転んだりくつがぬげたりしたとき、どんな気持ちになったでしょう。</p> <p>○ぜったいにだいじょうぶと自分に言い聞かせながら走る高橋選手は、どんなことを考えたでしょう。</p>	<p>・大変だ追いつかれたらどうしよう。 ・驚いた、いつの間に来たんだ。 ・絶対に勝つぞ。</p> <p>・ここでやめようかな。 ・大変だ急がなきゃ。 ・どうしよう、びりになるかも。 ・びりなんていやだ。 ・ぜったいに勝つ。 ・負けられない。</p> <p>・自分ならぜったいに1位になれる。 ・小学生の時はびりになっても最後には勝ったんだ。だからまたがんばれるはずだ。 ・すきなかけっこなんだから負けるわけがない。 ・ぜったいに負けられない。</p>	<p>・体力が限界に近いこととシモン選手の追い上げに脅威を感じる心情を押さえさせる。</p> <p>・マラソン大会や練習の様子を想起させながら、途中で投げ出したくなかったことや焦る気持ちに共感させる。それでも泣かずに走り続けた尚子の行動から、好きなことだからあきらめずにがんばれるという気持ちに気づかせたい。</p> <p>・今までがんばってこれたのは走ることが好きだということ、それが自分の目標になっていることに気づかせたい。だから、つらくても大変でもがんばり続けることができるということを押さえたい。</p>
分	<p>○ゴールのテープを切ったときどんな気持ちになったでしょう。</p>	<p>・やったぞ、とてもうれしい。 ・練習をがんばってきてよかった。 ・あきらめないで最後までがんばってよかった。</p>	<p>・ゴールの瞬間の生き生きとした高橋選手の表情をビデオで見ながら目標に向かって努力することの大切さをつかませたい。</p>

見 つ め る 分	4 今までの自分を振り返る。 ○高橋選手のように、目標をもってがんばってできるようになったことや、その時の気持ちを書きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳の練習が厳しくて大変だったけど、がんばって練習して級があがってうれしかった。 ・リコーダーが苦手だったけど、休み時間に練習して吹けるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出せなくて書けない子のために、友だちの作文や日記を紹介する。 ・これまでの自己の体験を思い出させ学習シートに書かせる。
ま と め 2 分	5 まとめをする。 ○自分で決めたことを実行しやりとげた経験を教師が話しまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習をがんばってみよう。 ・縄跳びの新しい技に挑戦しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の説話を聞き、今後の意欲につなげたい。

6 板書計画

パ・ソナール選集 体験版

パ・ソナール選集 体験版

パ・ソナール選集 体験版